

DX410シリーズ ベルトパック/ベースステーション操作一覧表

ベルトパックの設定

A、Bボタン	他のベルトパックとの通話+2ワイヤー、または4ワイヤーポートに接続された有線インターカムとの通話。
ISOボタン	他のベルトパックとの通話のみ。(2ワイヤーと4ワイヤー系統へは送れない。) 本体側でAUX OUT表示が点灯しているときは、音声を他のベルトパックとAUX OUTへ送ることができる。
マイクゲインを上げる	Bボタンを押しながら▲ボタンを押す。(15段階)
マイクゲインを下げる	Bボタンを押しながら▼ボタンを押す。(15段階)
自分の音(Side Tone)を上げる	Aボタンを押しながら▲ボタンを押す。(5段階)
自分の音(Side Tone)を下げる	Aボタンを押しながら▲ボタンを押す。(5段階)
A、B、ISO送信のハンズフリーモードの設定	一旦電源を切り、ハンズフリーにしたい送信ボタン(A、B、ISO複数選択可能)と▲ボタンを押した状態で電源ボタンをワンプッシュ。
A、B、ISO送信のプッシュトークモードの設定	一旦電源を切り、プッシュトークにしたい送信ボタン(A、B、ISO複数選択可能)と▼ボタンを押しながら電源ボタンをワンプッシュ。
ISO発信規制の設定	一旦電源を切り、Aボタンを押しながら電源ボタンをワン・プッシュ。解除するときはAボタンとISOボタンを押しながら電源オン。
リッスンオンリーモードの設定	一旦電源を切り、▼ボタンを押しながら電源ボタンをワンプッシュ。解除するときは▲ボタンを押しながら電源オン。
電源/モード表示LED無効設定 *WH410のみ	一旦電源を切り、Bボタンを押しながら電源ボタンをワンプッシュ(ライトオフオペレーション)。この設定は電源を切ったときにリセットされます。必要な場合は再設定してください。

ベースステーションの設定

ベルトパックのレジストレーション(登録)	<p>親機前面のREGボタンを押して、ベースステーションをレジストレーション(登録)モードにする。小さい「0」表示が出ていればレジストレーションモードです。ベルトパックのISOボタンを押しながら電源ボタンをワンプッシュして電源を入れる。ヘッドセットから「Begin registration... registration complete」との音声ナビが聞こえたらレジストレーションは完了です。</p> <p>ベースステーションに登録されているベルトパックを他のベースステーションに登録する場合、そのまま新たなベースステーションに登録することが出来ません。登録後は以前のベースステーションとは通話不能となります。以前のベースステーションに登録されていたID番号は幽霊番号となって残っています。ベルトパックのレジストレーションは15台まで可能です。16台目をレジストレーションしようとする、「F」表示が出てエラーとなります。使用していないベルトパックが登録されたままになっていて登録台数が15台に達していると、新たなベルトパックの登録が出来なくなってしまいます。その様な場合は、全ベルトパックのレジストレーションの解除(リセットレジストレーション)を行ってから実使用ベルトパックの再登録を行ってください。</p>
全ベルトパックのレジストレーションの解除	親機前面のCLR/BNDボタンを押しながらRESETホールから細いものでRESETボタンをワンプッシュする。「C」表示が出ればOK。
ベルトパックのレジストレーションに失敗して「F」表示が出たままになった場合	RESETホールから細いものでRESETボタンをワンプッシュする。
2ワイヤーインカムを接続したときベルトパックの自分の声が大きく聞こえる	親機前面のAUTO NULLホールにゼムクリップなどの細いものを差し込んで、内部のボタンを2秒以上押します。システムに接続されているベルトパックすべてにスイープ音が25秒間流れます。(2-W表示は黄色で点灯したあと、緑色に変わります。)*AUTO NULLボタンを押すときは、2-W、ワイヤレス双方のシステムで送信状態の子機がないことを確認してください。